



## 富田林市消防本部

ファイヤーコントロールボックスを活用した訓練を実施

富田林市消防本部では、高気密・高断熱化が進む現代の住宅環境に対応するため、ファイヤーコントロールボックスを活用した訓練を定期的に行っています。

ファイヤーコントロールボックスでは、模型の木造家屋を合板で作成し、実際に内部から燃焼させることで、炎や煙の動きを理解し、区画構造と火点の関係性や火煙の流動伝播に及ぼす影響などを体感することができます。各隊員はこの訓練を通じて、開口部の設定に伴う火災性状の変化などを正しく認識し、的確なドアコントロールの方法やその効果を学習するだけでなく、屋内火災という環境下での安全管理についても、知識の共有を図っています。

全国的に火災件数が減少傾向にありますが、今後も引き続き様々な検証・体験型の訓練を取り入れることで、若手職員の経験不足を補うとともに、複雑多様化する災害への強固な警防体制の構築に努めてまいります。



## 八尾市消防本部

消防団の救助能力向上をめざして

八尾市消防本部では、大規模災害時における人命救助能力の向上を目的としたチェーンソーを消防団に配備するにあたり、令和2年7月5日(日)、大阪府中部広域防災拠点において、消防団員を対象に資機材取扱訓練を実施しました。

訓練には、200名を超える消防団員が参加し、本市消防本部高度救助隊の指導のもと、資機材の特性、点検方法、使用上の留意事項等を入念に説明のうえ、配備予定のチェーンソーを使用して実際に参加者全員で木材を切断し、取扱い方法を学びました。

一級河川や広大な林野を抱える八尾市では、地震、台風、集中豪雨等による土砂災害や河川氾濫等への危機意識が年々高まっており、火災のみならず自然災害への対応力強化が求められています。

今後も消防団と連携を深めるとともに、各団員が安全、確実、迅速に救助資機材を取扱いできるよう訓練を重ねてまいります。